

分野	専門分野		開講時期	3年前期	
授業科目名	地域・在宅看護論		単位数	1単位	
	暮らしを支える看護Ⅰ		時間数	30時間	
講師名	熊谷 舞子	所属	やまと在宅診療所一関	資格・免許	看護師免許 保健師免許
		職名	看護師・保健師		
講師名	杉山 賢明	所属	一般社団法人みんなの健康らぼ	資格・免許	医師免許
		職名	医師		
講師名	ジェンドービ 裕子	所属	岩手県立一関高等看護学院	資格・免許	看護師免許
		職名	専任教員		

事前学習内容

テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく

科目全体のねらい

地域で暮らす人々の、健康の保持増進・疾病予防に関わる看護を理解する

教育目標との関連

- (1) 命の尊さや思いやりを基調に、人々と協和し、良い人間関係を築くことができる。
- (3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。
- (4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。
- (5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。
- (7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、より良く生きることを支援できる。

科目目標

健康の保持増進・疾病予防に必要な指導的活動を理解する

回	授業内容	講師	方法
1	生活を支えるコミュニケーション技術	熊谷(舞)	講義
2	生活を支えるコミュニケーション技術	熊谷(舞)	講義
3	生活を支えるコミュニケーション技術	熊谷(舞)	講義
4	生活を支える地域づくりの技法（ケア会議の進め方）	熊谷(舞)	講義
5	地域・在宅看護のリスクマネジメント	熊谷(舞)	講義
6	地域・在宅看護の災害マネジメント	熊谷(舞)	講義
7	人生会議	杉山	講義
8	在宅医療の実際	杉山	講義
9	ケアチームのコミュニケーションの実際(地域を支える地域づくりの技法：住民への啓発の技法)、地域での教育活動を知る（DVD視聴）	ジェンドービ	講義
10	ケアチームのコミュニケーションの実際（看護の健康教育機能：看護における患者教育、セルフケアの概念と教育）	ジェンドービ	講義
11	地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防：演習①	ジェンドービ	演習
12	地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防：演習②	ジェンドービ	演習
13	地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防：演習③	ジェンドービ	演習
14	地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防：演習④	ジェンドービ	演習
15	地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防：演習⑤	ジェンドービ	演習

受講上の注意

評価方法

筆記試験80点 演習課題評価20点

使用するテキスト

地域在宅看護の基礎・地域在宅看護の実践（医学書院）

参考文献

* 病院や地域医療での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する